



2024年10月17日発行 会報第1210号

今週のプログラム

(2024年 10月17日 第1210回例会)

ファイヤーサイドミーティング

担当：高尾会長

次週のプログラム

(2024年 10月24日 第1211回例会)

ガバナー公式訪問

RI 第2660地区
大橋 秀典ガバナー

第1209回例会 (2024年 10月10日) の記録

<会長の時間>

高尾 修会長

本日は2660地区IM第2組ガバナー補佐 吹田RCの上本博様とガバナー補佐エレクト大阪東淀
ちややまちRC前田要之助様にお越し頂いています。10月24日には、大橋秀典ガバナーの公式訪問
がございます。上本様、本日はよろしくお願ひ申し上げます。10月は米山月間で、米山記念奨学会に
ついてお話をさせていただきます。米山記念奨学会事業とは、日本のロータリー全地区による国際事業です。
日本で学ぶ外国人奨学生に奨学金を支給し、支援する事により、日本と世界との平和の架け橋になる
人材を育てています。この事業は1952年、東京ロータリークラブが発表した「米山基金」に始まり
ます。日本のロータリーの創始者である故・米山梅吉氏の生前の功績をたたえ、後世まで残るような
有益な事業を行いたいということでした。その背景には、二度と戦争の悲劇を繰り返さないために、
「平和日本」を世界に伝え、国際親善と世界平和に寄与したいという、戦後のロータリアン達の強い
願ひがありました。ここで、米山梅吉氏についてお話しします。東京・芝田村町生まれ19才で渡米、
帰国後は三井銀行に入行。派遣視察団の一員としてアメリカ滞在中、ダラスRC会員だった福島喜三郎
氏と出会い、1920年、日本で最初のロータリークラブ、東京RCを創立します。1924年には、
日本初の信託会社、三井信託株式会社を設立し初代社長に就任されます。晩年は三井報恩会を通じて
社会・医療文化事業を支援し、私財を投じて緑岡小学校と緑岡幼稚園を設立し教育にも献身されました。
「何事も人々からして欲しいと望むことは人々にもその通りせよ」が、梅吉氏の願ひでもあり、
生涯そのものでした。2024年度の米山奨学生は、926人・事業費は15億6百万円(2023～
2024年度決算)です。外国人留学生を対象とする民間奨学金では国内最大規模です。これまでの
累計奨学生数は24,133人(2024年7月現在)、その出身国は世界133の国と地域に及びます。
千里メイプルRCは、2002年より2024年までに17人のお世話をしています。現在の奨学生は、
大阪大学人間科学部人間学科に通われているグエン カム フンさんで、ベトナム出身の聡明で明るい
人柄の勉強家です。そして、2006年～2007年の米山奨学生のクレラ ラカボサ サブ様は、
フィジー共和国大使館 臨時大使を務められフィジーと日本の架け橋となって活躍されています。
これからも、積極的に米山奨学生のお世話をしたいと思います。

<本日のゲスト>

RI 第 2660 地区 IM 第 2 組 ガバナー補佐 上本 博様 (吹田 RC)

ガバナー補佐エレクト 前田 要之助様 (大阪東淀ちゃやまち RC)

<出席報告> 山本 友亮 SAA 補助

会員数 17 名 (内出席免除会員 1 名)

本日の出席者数 11 名

(内出席免除会員 1 名・名誉会員 0 名)

本日の出席率 64.71%

<ロータリーソング> 全会員

♪我等の生業♪

<本日の演奏曲> 近藤 美里さん

1. アラベスク ドビュッシー

2. チャルダッシュ モンティ

3. 愛の賛歌

4. 小さい秋見つけた

<幹事報告>

藤田 芳浩 幹事

1. 千里ロータリークラブ 親睦委員長 上橋芳雄様より、当クラブと親睦を深める年末行事のご案内が届きました。参加される会員様は回覧申し込み表にご記入ください。
参加申し込み締め切りは 11 月 28 日例会です。

■日時：2024 年 12 月 29 日 午後 12 時から午後 5 時ごろ

■費用：お 1 人 ¥12,000

第1部 ホテル阪神大阪のマルシェダイニングで美味しいバイキングを楽しむ

第2部 ザ・シンフォニーホールでスーパーブラスの年末スペシャルコンサート鑑賞

2. 吹田 RC・茨木東 RC・吹田西 RC より冊子版クラブの概況報告書が届きました。

<本日のお食事>



1. ウンパイロウ サラダ仕立て
2. 二種きくらげ入り卵スープ
3. 若鶏の唐揚げ
4. 芙蓉蟹 上湯ソース
5. 牛肉の広東味噌煮込み
6. ご飯・ザーサイ
7. タピオカ入りココナッツミルク

<SAA報告>

山本 友亮 SAA 補助

※ニコニコ奉仕金

藤田会員

次週のプログラム変更になりました。宜しくお願いします。

小山会員

コメントなし

※ラオス基金

水島会員

上本様 前田様 本日は、ありがとうございます。

※ロータリー財団

高尾会員

ガバナー補佐エレクト

大阪東淀ちゃやまち RC 前田 要之助様 ようこそ！

柳原会員

今週は釣りに行きます。久しぶりです。

相原会員

コメントなし

※米山記念奨学会

高尾会員

上本ガバナー補佐様 本日は、よろしくお願ひ致します。

藤田会員

前回欠席のお詫び！！

小山会員・相原会員・山本(雅)会員

コメントなし

※メイプル基金

水本会員

本日欠席申し訳ありません。

藤田会員

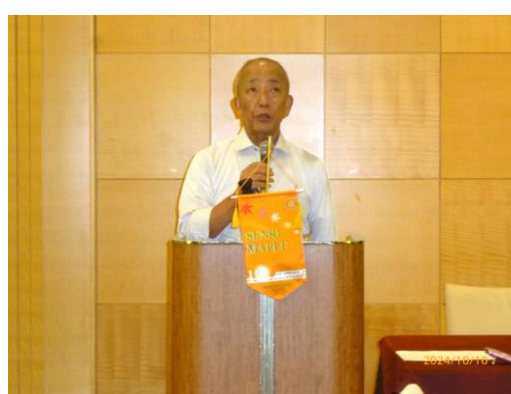
上本 博ガバナー補佐様 前田 要之助ガバナー補佐エレクト様
宜しくお願いします。

山本友亮会員

上本様、前田様 いらっしゃいませ。

小山会員

コメントなし



<卓 話>

IM第2組ガバナー補佐 上本 博様

本年度の国際ロータリーのステファニーA・アーチック会長の今年度テーマは、The Magic of Rotary です。R I 会長のメッセージの中で帰属意識こそが「ロータリーのマジック」そのものだと言っておられます。我々ロータリアンは、それぞれが国際ロータリーの全世界の同じ奉仕の理想を持った仲間であり、各クラブの仲間ということです。仲間といっても段階があります。Acquaintance (アクエンタンス) という言葉があります。これは知り合い程度の仲間、次にfriendship。これは友人です。一緒に食事をしたり旅行に行ったりする仲間。ロータリアンは違います。Fellowship です。同じ目的、奉仕活動、ポリオ撲滅などの世界共通意識、その仲間が全世界の約120万名という仲間の一員である。その中の千里メイプルRCという昨年四半世紀を迎えられた歴史ある素晴らしいクラブの一員であるという帰属意識ですね。また、貴クラブは、関西大学の教授と共に海外の留学生また、米山奨学生を交えた交換会、米山奨学生の受け入れにつきましても毎年のように受け入れられています。また、先日、舞洲で開催されましたRYLAセミナーにつきましても3名の登録という素晴らしい実績です。また、子ども食堂への支援等、今年度は、能登半島地震への支援という多方面についての支援もしておられて素晴らしい社会奉仕だと思います。

この奉仕の仲間としてクラブの一員として活動しておられます。その千里メイプルRCの一員であるという仲間意識、帰属意識、これこそがロータリーの値打ちだと思います。

次に、地区年次目標が、大きく分けて4つあります。1. より大きなインパクトをもたらす。等々がありますがマイロータリーのクラブセントラルに貴クラブは既に目標を掲げられています。ありがとうございます。その目標のうち半数以上達成したクラブがクラブ優秀賞をいただきますので今年度も是非目標を大きく超えて達成して頂きたいと思います。IM第2組の全クラブが受賞しましょう。

次にR I 会長も地区大橋ガバナーも口をそろえて言っておられるのがDEIについてです。アメリカの企業で始まった訳ですが、いまや世界中で取り入れられています。ロータリーでは一昨年のジェニファー・ジョーンズR I 会長が頻りに言っておられました。

1. ダイバーシティ (Diversity): 多様性です。会員の中のさまざまな違い年齢、性別、企業の大小、それをお互いに認め合い、尊重し合うことの大切さ。
2. エクイティ (Equity): 公平な扱いや不均衡の調整を行う概念です。新入会員に対して、ベテランのロータリアンと同じようにロータリーを楽しめるように。新入会員歓迎会、オリエンテーション、フレッシュロータリアン (主に入会5年未満) 研修会に参加していただいてロータリーを理解し、ロータリーを楽しむということです。重要です。
3. インクルージョン (Inclusion): 一人ひとりの多様性を認め、誰もが組織に貢献できる環境を作ることを意味します。DEIの内のインクルージョンは最も大切です。クラブでの居心地ですね。居心地のいいクラブから退会者は出ません。

そこで最重要なのが充実した例会です。例会に出席してこそ仲間意識ができる訳で、例会は、親睦の場、学びの場であり人格の陶冶の場です。真のロータリアンを育てることがロータリーの目的です。

本日の、高尾会長様の会長挨拶、素晴らしかったです、あれだけの挨拶は少し考えただけでは出来ません。会長の決意と覚悟が見えました。感動しました。米山月間に因んでの見事な挨拶でした。(1920年 10月 20日 米山梅吉翁が創始)

1923-24R I会長の Guy Gundaker (ガイ ガンデッカー) は次のようなことを言っています。ロータリークラブの真の姿とは

1. ロータリアンの人間性の向上
2. ロータリアンの事業の向上
3. ロータリアンの業界全体の向上
4. ロータリアンの家庭、町、州、国ならびに社会全体の向上
5. ロータリークラブの例会は、上記の向上のための「親睦と学びの場」

【入りて睦み学び成長し、出でて向上発展に努めよ】 すべて向上 (Betterment) であると言っています。

会員増強は、委員会だけがすればいいのではありません。クラブ会員全員が会員増強委員長であるという自覚です。会員増強は全員野球。ロータリークラブに入会することが絶対にこの人の為になる、幸せになるという思いが大切であり、これ以外に会員を増強する意味はないと思います。

最後に大切なのが、ポール・ハリスが言った寛容という言葉です。

【我々は、お互いに相手の欠点を我慢し合うことの大切さ、すなわち「toleration」の価値を学んだ。】 我慢、受容、尊重、寛容【ロータリーの発展は「toleration」にかかっている。】今日の会長の時間のような素晴らしい例会。DEIを徹底してクラブを活性化し全員でマジックを起こしましょう。

GROW ROTARIAN
ENJOY ROTARIAN

